



令和6年4月1日

国土交通省関東地方整備局

荒川調節池工事事務所

令和6年度 荒川調節池工事事務所 事業概要

荒川流域は、東京都と埼玉県にまたがり、流域内には、日本の人口の約1割が集中している地域です。特に埼玉県南部及び東京都区間沿川は人口・資産が高密度に集積している地域となっています。

荒川の治水安全度向上のための抜本的な対策として、荒川中流域の広い河川敷を活用した荒川第二・三調節池の整備を推進します。

【令和6年度予定】

- ・埼玉県上尾市平方地区において、樋管新設、築堤を実施します。
- ・埼玉県さいたま市西区西遊馬地区において、用地買収を実施します。
- ・埼玉県さいたま市桜区下大久保地区等において基盤整備、築堤、排水門新設、池内水路整備、CCTV設置等を実施します。

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、埼玉県政記者クラブ、東京都庁記者クラブ、さいたま市政記者クラブ、さいたま市地方記者クラブ、川越新聞記者会

<問い合わせ先>

関東地方整備局 荒川調節池工事事務所

電話：048-767-6041（代表） メールアドレス：ktr-araike-koumu@mlit.go.jp

副所長（技術） 大須 栄一（内線：204）

工務課 課長 大田 和明（内線：311）

あらかわ だいに・さん ちょうせつち だいきぼかいりょうこうじ
荒川第二・三調節池(大規模改良工事)

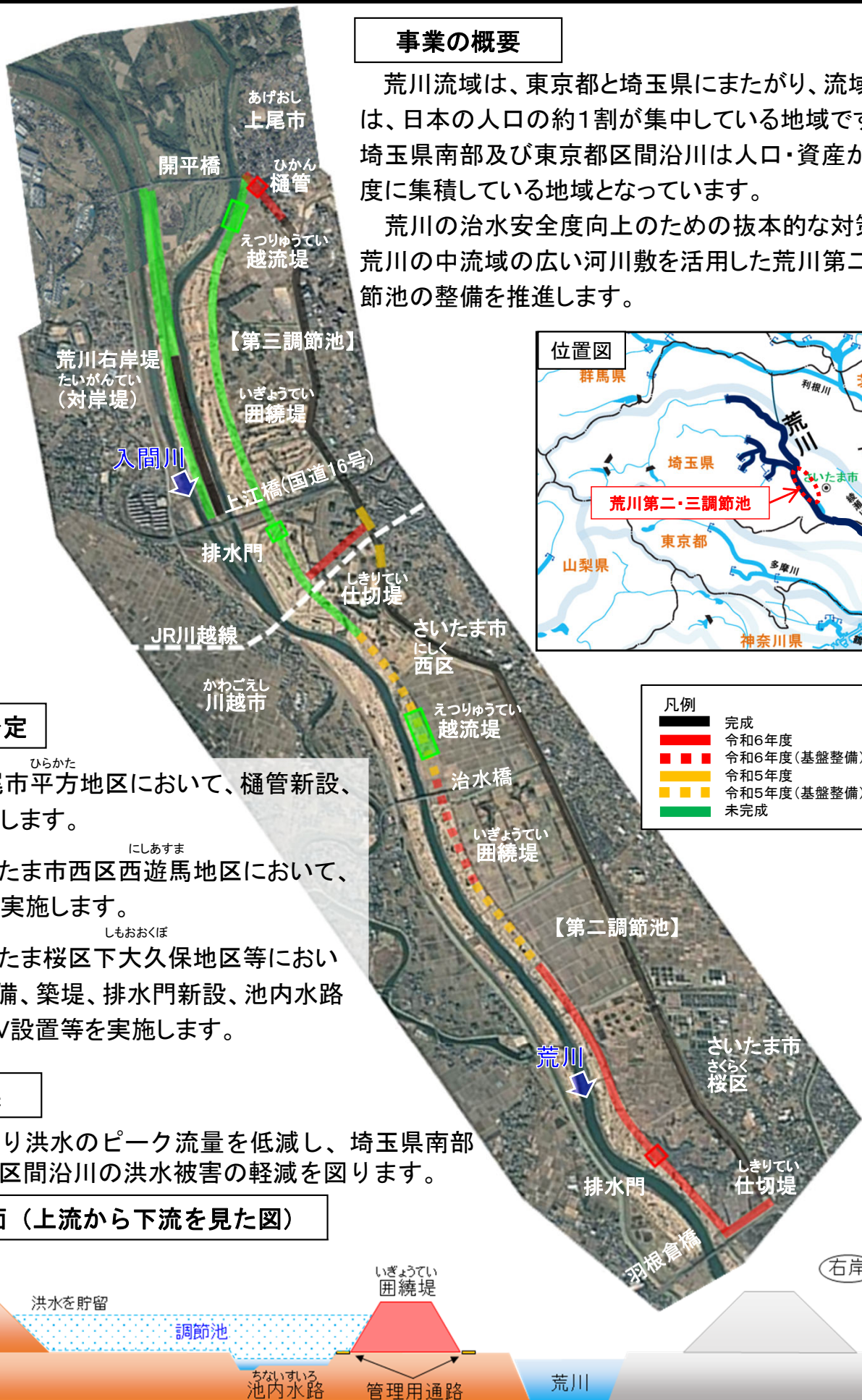
【埼玉県】直轄

R6年度事業費:約61.1億円 対前年比:0.84※
 (R5年度当初事業費:73.0億円※)

事業の概要

荒川流域は、東京都と埼玉県にまたがり、流域内には、日本の人口の約1割が集中している地域です。特に埼玉県南部及び東京都区間沿川は人口・資産が高密度に集積している地域となっています。

荒川の治水安全度向上のための抜本的な対策として、荒川の中流域の広い河川敷を活用した荒川第二・三調節池の整備を推進します。



凡例

黒線	完成
赤線	令和6年度
赤点線	令和6年度(基盤整備)
黄点線	令和5年度
黄点線	令和5年度(基盤整備)
緑点線	未完成

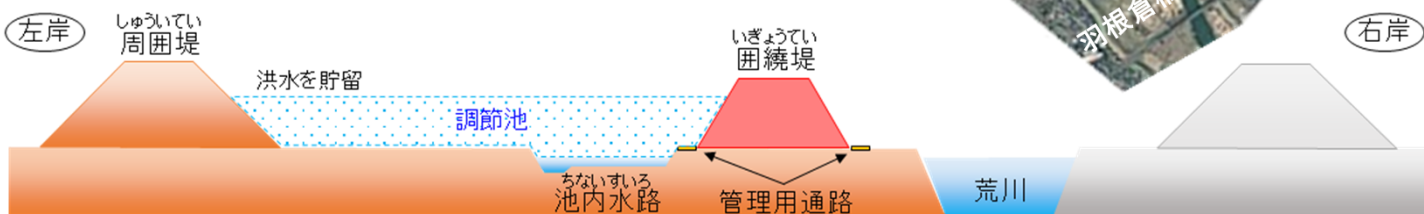
令和6年度予定

- 埼玉県上尾市平方地区において、樋管新設、築堤を実施します。
- 埼玉県さいたま市西区西遊馬地区において、用地買収を実施します。
- 埼玉県さいたま桜区下大久保地区等において、基盤整備、築堤、排水門新設、池内水路整備、CCTV設置等を実施します。

事業の効果

- 調節池により洪水のピーク流量を低減し、埼玉県南部及び東京都区間沿川の洪水被害の軽減を図ります。

調節池の断面(上流から下流を見た図)



注) 上図は、調節池の関係施設をわかりやすく示したイメージ図であり、実際とは異なります。
 ※上記の他、工事諸費等がある。
 ※合計値はそれぞれ百万円未満を四捨五入しているため、端数において一致しないものがある。